

地方創生交付金事業（令和 7 年度）の効果検証
音威子府村まち・ひと・しごと創生本部 有識者会議 議事録

2026 年 7 月 28 日 10 時～
音威子府村役場 2 階大ホール

◎議事録

1. 開会

（村長あいさつ）

多忙の中の参加に感謝。総合戦略・交付金の活用を見直す重要な会議。「人が宝」であり、次代につなげる議論を期待。若い世代に素晴らしい音威子府村を届けるため、率直で前向きな意見を求める。

（オブザーバーあいさつ）

日頃の道政へのご理解・ご協力に感謝。高校を核とした特色あるまちづくりを高く評価。新たな学びの場「主人高」も始まり、地方創生の新モデルとして期待をしている。国も地方創生 2.0 を推進し、若者・女性に選ばれる地域づくりが重要と考えている。地域課題は複雑であり、行政だけでなく地域の強みを生かした持続的な取組が必要。本会議が実りあるものとなることを祈念しあいさつとする。

2. 議題

（1）交付金事業の効果検証 ※別紙 1

事業①【多様な越境機会の創出による地域課題解決型人材育成事業】

- 入学説明会（オンライン・大阪・東京）を実施。
- 今年の入学者 37 名のうち、道外 13 名（関東 9・関西 2・他 2）。
- 全学年で道外からの入学が約 30%に達し、成果が出ている。

事業②【アートを通じた地域活性化事業】

- 地域文化祭との同時開催で賑わい創出に寄与。
- 外部アーティスト招聘により高校との交流も実現。
- 村への愛着形成にも一定の効果。

事業③【行かない窓口プロジェクト】

- LINE 登録者 589 人は、卒業生や起業人など「関係人口」が含まれる。
- KPI の満足度は 5 点満点。

- スマホが苦手な世代へは、老人会でのスマホ教室や外部人材による福祉カフェでの支援を実施。

(座長) デジタル実装後の HP の需要は変化があったのか？今後の更新の予定は？

(村長) HP は必要情報にたどり着くまで手間が多い。AI 副村長「ねっぷちゃん」を導入し、検索性を改善している。HP 更新は費用が高く、地域活性化起業人等のノウハウを活用し改善を進めたい。

(座長) 情報が古い、更新が遅いなど改善を強く希望している。

(事務局) 具体的に「ここを変更して欲しい」など指摘があれば対応しやすい。

(有識者) 住民票等の取得のオンライン申請なども今後実現可能だろうか？

(事務局) スマホ＋マイナンバーカードがあれば技術的には可能。ただし悪用されるリスクもあり導入には慎重な検討が必要。

(2) 人口ビジョン・総合戦略進捗

2026 年 4 月末の人口が 583 人であり、将来推計人口と比較してほぼ同数であること、2025 年 4 月末と比較すると、約 3%の減少となった。2025 年より第 3 期の総合戦略に入り、KPI を基にした進捗率を考慮すると概ね順調に推移していると報告された。

(村長) おと高卒業生の「関係人口化」が課題。在学中に地域住民との関わりが少ないため、卒業後に村へ戻る動機が弱い。生徒の安全を確保しつつ、地域に「お父さん・お母さん」的な存在ができて、卒業後も会いに来たくなる仕組みを作りたい。生徒からも「もっと地域と関われると思っていた」という声がある。

(有識者) 生徒が自由に出入りできる民間の場がない。自然に集まれる場所が必要。

(有識者) 卒業後も訪れられる「居場所」があると関係人口化につながる。

(座長) 今年度入学者数が減ったことに関して、教育長の意見を聞かせてほしい。

(教育長) 昨年の高倍率の影響があると考え。札幌方面の中学校を訪問し、体験入学を試みたが受験に至らなかった理由を調査したが、保護者が遠方へ子どもを出したくない、子どもも親元を離れたくないという傾向があるようだ。おと高の認知度は札幌では高いが小樽方面は低く、今後その方面の広報活動も必要。

オンライン面接など受験環境整備も重要と考えるが、間口を広くしても結局のところ「覚悟」の問題という保護者の声もある。

（有識者）寮でも制作活動をしていると思う。エアコンの付いたスペースが増えれば、制作活動の幅も広がるのでは？

（教育長）エアコンは普通教室と寮食堂に設置済み。寮での制作活動は刃物を使う彫刻・木工制作は許可していない。エアコン増設は受電設備の問題で難しい。

3. 報告

（1）令和8年度地方創生交付金活用事業

令和7年度より継続して「多様な越境機会の創出による地域課題解決型人材育成事業」「アートを通じた地域活性化事業」の2事業が交付決定を受けていることが報告された。また、道の交付金事業である移住支援金・地方就職支援金、村独自の移住定住促進就業支援金が4月から実施されていると説明された。

4. 全体を通して

（有識者）企業版ふるさと納税を「エアコン問題」に活用できないだろうか？

（村長）それは可能だが、校舎の設備面、受電設備等、課題が多い。今年は昨年を上回る寄附金額に結び付けたい。

（有識者）多くの外部人材に村で活動していただいている。その中でも起業を希望している人もいるため、規制緩和など活動しやすい環境整備をお願いしたい。

（村長）その通りと感じている。利用率の低い公共施設なども事業に使えるように検討したい。

5. 最後に

（オブザーバーあいさつ）村や高校のために何ができるか真剣に議論された。本会議は決定の場ではないが、出た意見を持ち帰り意識して行動することで物事は好転すると期待している。道としても地域との連携を深め、地域の取組を後押しするような施策を実施したい。

事業①【多様な越境機会の創出による地域課題解決型人材育成事業】				
【目的・効果】 全国の小規模市町村が広域に連携することで、地域・学校の壁を越えた学びの機会と人の流れを創出し、地域課題解決型の人材を育成する。				
【事業概要】 47市町村が単独では対応困難な事業を共同で推進。 デジタル活用による人材育成、新たな人の流れづくり、成果の見える化・社会資源獲得の3テーマに沿って持続可能な形で課題解決型人材の育成を行う。				
【事業費】		【重要業績評価指標（KPI）】	現在値	目標値
推進事務局運営費	1,044千円	① 外部から地域に越境し居住する中高生の数	574	631
寮の運営関係・施設委託関係	45,452千円	② 越境プログラムに参加した中高生の数	213	234
寮屋根改修工事	14,520千円	③ オンラインプログラムに参加した中高生の数	584	642
合計	61,016千円	④ 課題解決型人材の育成に向けた環境及び人材の能力・意識に係る指標	68.2	72.2

事業②【アートを通じた地域活性化事業】						
【目的・効果】						
おと高との連携を強化し卒業生やアーティストとの交流を通じて地域の活性化を図る。						
アート活動を通じて地域住民と外部から来るアーティストとの交流を促進する。これにより新たな人間関係やネットワークが形成され、村内での文化的な活性化が期待される。						
【事業概要】						
おと高に入学・卒業された方を中心に公募し、アーティストは一定期間村内に滞在し、創作活動を行い、その成果を展示する。音威子府村を舞台に、多様な人々が集まり共創する場づくりを目指す。						
【事業費】		【重要業績評価指標（KPI）】		目標値	実績	進捗率(%)
アーティスト報償費等（村補助金）	426千円	① 展示会来場者数		200	332	166
		② 参加アーティスト数		8	8	100
		③ メディア露出回数		10	18	180
		④ 地域住民との交流イベント		3	8	266.7
		⑤ 地域住民の満足度調査		3	1.85	61.67
		⑥ 新規関係人口の増加数		50	55	110

事業③【行かない窓口プロジェクト】

【目的・効果】

住民の利便性向上と地域活性化を図るために、「行かない窓口プロジェクト」を推進する。

LINEアプリを通じてリアルタイムで様々な行政サービスを提供することを目指し、住民が手続きに何度も役場に足を運ぶ負担を軽減する。

事業概要

LINEアプリを通じて簡単にアクセスできるように行政サービスプラットフォームを導入する。防災・災害の連絡、高齢者見守り、施設利用予約、イベント周知、未契約者へのスマホ貸与などのサービスを行い、安全で便利な生活環境づくりに寄与する。

事業費		【重要業績評価指標（KPI）】	目標値	実績	進捗率(%)
システム利用料	1,320千円	① LINE友達登録者数	200	589	294.5
スマホリース料	387千円	② 情報発信回数	50	370	740
合計	1,707千円	③ 申請等受付数	100	140	140
		④ サービスの満足度	3	3.73	124.3

音威子府村人口ビジョン進捗状況

戦略人口及び趨勢(すうせい)人口 ※参考

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
a)戦略人口	995人	886人	815人	753人	703人	655人	611人	563人	521人	496人	498人
b)趨勢人口	995人	886人	758人	649人	556人	478人	406人	343人	293人	258人	235人
c)※将来推計人口(2023時点)	—	—	706人	597人	532人	465人	407人	360人	328人	—	—

※「将来推計人口」は、国立社会保障・人口問題研究所公表データより

音威子府村人口 2025年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人口	600人	605人	605人	605人	603人	604人	594人	594人	588人	559人	554人	535人

音威子府村人口 2026年度	4月	5月	6月
人口	583人	580人	580人

◆人口ビジョンおよび将来推計人口等を踏まえた上での分析評価、考察(事務局)

■人口ビジョンおよび第1期総合戦略スタート時(2015年～)からすでに想定以上の人口減が発生していること、また国の長期ビジョンや将来推計人口においても長い期間での設定をしていることから、短期間の人口増減のみを事業評価基準にすることなく、短期・中長期での取り組みを計画的に取り組んでいく必要がある。

■人口減少に伴う地域課題解決のための指針となる「総合戦略」の中核となっている「村立高校」の存在は、人口推移の観点(村人口に対する高校生の割合増)でも年々、重要性が高まってくる。このことから、村立高校の生徒の安定的な確保をはじめ、卒業生や都市圏学生とのつながりづくりのための地域と高校、地域と都市との交流機会、関係人口の創出から、人口減少抑制や移住定住などの地域課題解決に向け、出来る限り多くの人々が携わりながら取り組みを進めていく必要がある。

■近年では、単純な移住定住だけではなく、「関係人口」「交流人口」増加を目指す取り組みがさまざま行われている。戦略人口数値上では表れてこないが、総人口の7%である卒業生約40名「村とゆかりのある若者」が、毎年地域を巣立っていくことをプラスととらえ、戦略的にプロジェクト展開を行い各種人口増へとつなげていく必要がある。

総合戦略 数値目標・KPI

市町村名 音威子府村

基準値	(1年度)実績	(2年度)実績	(3年度)実績	(4年度)実績	(5年度)実績	数値目標	進捗率	
-----	---------	---------	---------	---------	---------	------	-----	--

【基本目標（1）村の振興の要となる高等学校の機能強化】

数値目標	高等学校の入学人数(人/年)	36	R7	41	R8	37	R9		R10		R11		R7	40	102.5%	
KPI	一日体験入学人数(人/年)	70	R7	73	R8		R9		R10		R11		年	60	121.7%	
	地域みらい留学説明会(件/年)	38	R7	60	R8		R9		R10		R11		年	30	200.0%	
	SNS発信数(件/年)	8/月	R7	108	R8		R9		R10		R11		年	100	108.0%	

【基本目標（2）卒業生の雇用の場の創出や多様な人材活躍・企業活躍の推進】

数値目標	卒業生の新規就業者数(人/5年間)	5	R7	1	R8		R9		R10		R11		5年間	5	20.0%	
KPI	地元企業への就職者数(人/5年間)	6	R7	1	R8		R9		R10		R11		5年間	5	20.0%	
	起業・事業承継者数(人/5年間)	2	R7	0	R8		R9		R10		R11		5年間	2	0.0%	
	新規就農者数(人/5年間)	0	R7	0	R8		R9		R10		R11		5年間	3	0.0%	
	農業後継者数(人/5年間)	0	R7	0	R8		R9		R10		R11		5年間	2	0.0%	

【基本目標（3）おと高を軸とした人の流れ、卒業生や村外の人々とのつながりを築き、全ての世代が暮らしやすいまちづくりの推進】

数値目標	卒業生の移住数(人/5年間)	6	R7	1	R8		R9		R10		R11		5年間	5	20.0%	
KPI	作品展の入場者数(人/年)	2000	R7	3393	R8		R9		R10		R11		年	2000	169.7%	
	短期移住体験者数(人/5年間)	8	R7	4	R8		R9		R10		R11		5年間	10	40.0%	
	アーティスト招聘おと高生・村民と交流事業(人/5年間)	8	R7	8	R8		R9		R10		R11		5年間	50	16.0%	
	作品展の開催数(回/年)	16	R7	17	R8		R9		R10		R11		年	20	85.0%	
	おと高応援団の加入数(人/5年間)	137	R7	137	R8		R9		R10		R11		5年間	200	68.5%	
	交流イベント開催数(回/年)	8	R7	16	R8		R9		R10		R11		年	5	320.0%	
	大学との連携事業数(回/年)	3	R7	3	R8		R9		R10		R11		年	4	75.0%	
	出生率の向上(%)	0.16	R7	0	R8		R9		R10		R11			0.5	0.0%	
	出合いイベントの開催(回/年)	-	R7	0	R8		R9		R10		R11		年	1	0.0%	

【基本目標（4）おと高生参加による個性的で安心して暮らすことができる魅力あるまちづくり】

数値目標	おと高生参加まちづくり事業(事業/年)	3	R7	4	R8		R9		R10		R11		年	3	133.3%	
KPI	村内公共施設での作品展示会開催数(回/年)	13	R7	15	R8		R9		R10		R11		年	15	100.0%	
	住民サービスのデジタル化アプリ数(件)	0	R7	1	R8		R9		R10		R11			1	100.0%	
	デジタルを活用した行政サービス数(件)	0	R7	1	R8		R9		R10		R11			1	100.0%	